



# 議会だより

## 第87号

平成21年  
10月17日発行

# ここねえ



町民が演じるミュージカル「スリー・アローズ」グランシアターで盛大に

9月定例会

- 補陳特一わたしのひとこと
- 正別般わたしのひとこと
- 予情委員質問
- 算人事会報
- 質事案報告

南山田宝泉寺	中谷 康治さん	P.9
東飯田川上一	小幡 憲一さん	
野上中学校3年	梅木花菜美さん	P.10

平成21年

## 第3回定例会

本定例会は、9月8日から18日までの11日間開催されました。

議案19件、報告2件は原案のとおり可決されました。  
陳情3件は慎重に審査しました。

# 子育て支援ます充実

## 補正予算の主なもの

◆子育て応援特別手当交付金 857万4千円	◆活きいきランド法面工事 500万円	◆生竜橋設計委託他 451万5千円	◆放課後児童健全育成事業委託 284万2千円	◆外国语指導業務委託 261万円
--------------------------	-----------------------	----------------------	---------------------------	---------------------

一般会計は歳入歳出にそれぞれ8,149万円を追加して、総額で66億5,506万9千円となりました。

一般会計は歳入歳出に

**Q** 放課後児童健全育成事業補助金、284万2千円の使いみちは。

**A** 東飯田地区と、飯田地区の放課後児童クラブに、障がい児を受け入れるための指導員増員による、人件費である。

## 補正予算質疑

Q&A

**A** 先の総選挙で、政権交代となり、予算等の凍結をマニフェストに掲載。執行にあたり、多少の心配はあったが、順調に推移している。新たな問題が発生した場合は、関係機関と協議して迅速に対応する。

**Q** 8月の政権交代で、国第二次補正予算執行に、教室の利用等を検討したい。

**A** 現在の場所は、周囲の騒々しさがあるので、空き教室の利用等を検討したい。

## 議会の動き

5日	新過疎法制定実現	大分県総決起大会
6日	後期高齢者医療広域連合議会第一回臨時会	(県庁)
7日	永楽重海氏「瑞宝章」受章祝賀会	両町高校再編問題対策
8日	光章受章祝賀会	④小学校再編問題対策
9日	議員研修会(日出町)	東飯田地区放課後児童
10日	市町村議会議員短期研修(滋賀県)	ルームの一角を、衝立で仕
11日	両町高校再編問題対策	所としているが、子どもたちが落ち着いて、夕方まで
12日	永楽重海氏「瑞宝章」受章祝賀会	過ごす事は出来にくい。また障がい児も受け入れるのであれば、専用の部屋として配慮すべきと考えるが。
13日	議員研修会(日出町)	Q 東飯田地区放課後児童
14日	市町村議会議員短期研修(滋賀県)	ルームの一角を、衝立で仕
15日	両町高校再編問題対策	所としているが、子どもたちが落ち着いて、夕方まで
16日	永楽重海氏「瑞宝章」受章祝賀会	過ごす事は出来にくい。また障がい児も受け入れるのであれば、専用の部屋として配慮すべきと考えるが。
17日	議員研修会(日出町)	Q 東飯田地区放課後児童
18日	市町村議会議員短期研修(滋賀県)	ルームの一角を、衝立で仕
19日	両町高校再編問題対策	所としているが、子どもたちが落ち着いて、夕方まで
20日	永楽重海氏「瑞宝章」受章祝賀会	過ごす事は出来にくい。また障がい児も受け入れるのであれば、専用の部屋として配慮すべきと考えるが。
21日	議員研修会(日出町)	Q 東飯田地区放課後児童
22日	市町村議員短期研修会(滋賀県)	ルームの一角を、衝立で仕
23日	議員研修会(日出町)	所としているが、子どもたちが落ち着いて、夕方まで
24日	市町村議員短期研修会(滋賀県)	過ごす事は出来にくい。また障がい児も受け入れるのであれば、専用の部屋として配慮すべきと考えるが。
25日	議員研修会(日出町)	Q 東飯田地区放課後児童
26日	市町村議員短期研修会(滋賀県)	ルームの一角を、衝立で仕
27日	議員研修会(日出町)	所としているが、子どもたちが落ち着いて、夕方まで
28日	市町村議員短期研修会(滋賀県)	過ごす事は出来にくい。また障がい児も受け入れるのであれば、専用の部屋として配慮すべきと考えるが。
29日	議員研修会(日出町)	Q 東飯田地区放課後児童
30日	市町村議員短期研修会(滋賀県)	ルームの一角を、衝立で仕
31日	議員研修会(日出町)	所としているが、子どもたちが落ち着いて、夕方まで
8月	議員研修会(日出町)	過ごす事は出来にくい。また障がい児も受け入れるのであれば、専用の部屋として配慮すべきと考えるが。

## みなさん方の

陳情はこうなりました。



路肩部分に亀裂が発生

### 陳情

●陳情受付番号第5号 中央五区長梅木哲郎氏からの『町道編入を求める陳情』は、

旧橋場住宅付近の支線で

全長が約30m、幅員が2m

位で、町道としての認定基

準を大きく下まわるが、関

係戸数が5戸あること、一

部法面が崩壊状況にあり、

関係者と充分協議し問題を

残さないようにすることを

付して、探査することで意

見の一致を見ました。

岳線を結ぶ通称『後山道路』で今回で3度目の陳情である。1回目は不採択、2回目も同様の状況であったが、議会最終日前に取り下げた経過がある。現物支給などで舗装をしているが、一部法面が崩壊し、今後も続くことが予想できる。地元で除去などしているようだが、経費の負担や高齢化などで厳しいことは理解できるが、過去の経緯などを踏まえ、認定基準の精査など、さらに総合的に調査研究をする必要から継続審査とすることで意見の一致を見ました。

●陳情受付番号第7号 奥双石区長内野安三氏からの『町道編入を求める陳情』は、

この肺炎球菌ワクチンの接種は、法律に基づく予防接種（定期予防接種）ではなく、任意予防接種です。

県下では、豊後大野市と由布市が、今年10月より助成の実施を決定、全国的には89自治体で公費助成が導入されている。

今後実施しなければならない予防接種、特に新型インフルエンザについて、国も公費なのかどうかも決まっていない。

これから動向を見ながら検討する必要があることは、継続審査とすることで意見の一致を見ました。

## みなしの方の

陳情はこうなりました。



### 監査委員 佐藤徳幸氏の選任に 同意

県保険医協会 会長松山家久氏からの『肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情』は、

『9月』  
1日 部落解放同盟九重支部との懇談会（書  
曲集会所）  
3日 議会運営委員会  
8日 本会議「開会」  
全員協議会

議会広報特別委員会  
9日 教育民生観光（常）  
10日 総務建設産業（常）  
11日 九重町職員追悼式  
13日 第62回県民体育大会・議員ソフト  
15日 議会運営委員会  
18日 本会議「一般質問」  
25日 全員協議会  
27日 議会広報特別委員会  
30日 組合議会「定例会」  
「スリー・アローズ  
(グランシアタ)

### 固定資産評価審査委員会委員 小川一三氏の選任に 同意



現固定資産評価審査委員会  
委員の佐藤初弘氏が、平成21年9月7日に死亡したことから、その欠員を補うために小川一三氏を満場一致で選任に同意。

現固定資産評価審査委員会  
委員の佐藤初弘氏が、平成21年9月7日に死亡したことから、その欠員を補うために小川一三氏を満場一致で選任に同意。

※（常）常任委員会  
※（特）特別委員会

# インターネット、ケーブルテレビ、FM網 - 町内全域に



## 地域情報対策特別委員会報告

地域情報対策特別委員会は、平成19年6月19日に設置し、付託された「ブロードバンド等に関する審査」について、今日まで協議してきた。

### II 経過報告

平成19年7月に、執行部より「ブロードバンド等の方針」として、①BB事業を20年度、21年度の二ヵ年で実施する。②ケーブルテレビ事業については、整備しない。との提案があり、特別委員会として、先進地研修を実施した。

平成19年9月定例会での中間報告は、一部（約2割）住民のためのBB事業を単独で実施するよりも、多目的なサービスの提供、多チャンネル放送や高速インターネットの利用、住民の福祉につながる事などから、同時に取り組むが必要と判断し、委員会の中間報告とした。これを受け、執

行部方針として、ブロードバンドとケーブルテレビの両方の事業を、二ヵ年で実施することとなつた。

平成19年12月定例会では加入率を上げるために、

加入金を期間限定で無料にする事や、国からの有利な交付金が受けられれば、單年度で事業実施することが望ましいとの、提案をした。これを受けて執行部は、加入金の期間限定無料や、情報化推進計画を二ヵ年から一ヵ年での整備に変更した。

事業推進では、20年4月より、地域情報化集落説明会を開催し、また、平成20年9月18日、地域情報通信基盤整備事業の工事請負契約者が決定。契約金額は、約13億3140万円。宅内工事指定店業者も、町内13社に決定され、引込工事が完了したところから、随時工事を行つた。二ヵ年事業を一ヵ年事業に変更したた

め、宅内工事の遅れが問題になつたが、無事完了する事が出来た。6月1日には、自主放送開始、6月2日には「こここのえケーブルテレビ」竣工式が行われ、事業としては、概ね完了を迎える事となつた。

今後の課題として、加入推進の条件として福岡三波の一つ、TVQの放送がまだ出来ていない。引き続き、合意が出来る取組みを強く求めしていく事と、自主放送の充実を、内部で充分検討する事。監査委員からの指摘もあつたが、町内一円に張り巡らされている有線が、災害時に大きな被害を受けれる事も予想されるので、最短で尚且つ、万全の対策を講じることを要望した。

以上の事を踏まえ、地域情報対策特別委員会については、当初の目的が達成されたことから、審査を終了することとなつた。

一般質問 4人

ここが聞きたい！

# ズバリ 町政を問う



小川 克己

今年の秋以降に大流行が懸念される新型インフルエンザ。最大で1日76万人が発症、年内に患者が2500万人に達するという深刻な予想が発表され、医療現場からは『今でも限界』と不安の声もある。ワクチンの不足や人工呼吸器の不足も心配になるが地元医師会との連携も必要不可欠だ。本町におけるインフルエンザに対する行動マニュアルや資材の準備（高性能マスク、防護服、消毒薬等）状況や感染拡大の防止策等について伺いたい。

患者（ぜんそくや人工透析の患者）、妊娠中の人には重症化の恐れがあるのでワクチーン等優先したい。全国的にもは医療従事者百万人、妊婦百万人、基礎疾患患者九百万人、6歳未満の幼児六百万人、1歳未満の乳児の両親二百万人の計千八百万人が優先接種の対象である。防護服三百六〇着、消毒液15キロを15等です。

1日の単価引き上げや通勤手当も再考すべきと思うが。

新型インフルエンザ対策は  
感染予防、拡大防止に努めたい

景気・雇用対策は  
企業誘致は厳しい

小川 アメリカ発の金融危機が世界的な経済不況に発展している状況では、企業誘致や雇用の拡大は厳しいことは理解できるが、そういう悪条件の重なる時こそ

町長 5月に神戸市の高校生が国内最初の感染が確認された以降、全国で感染が拡大。死者も11人となつている。町としても今後、急激な患者の増加で医療機関への負担が増えるため、医療体制の強化や感染予防の徹底と感染拡大の防止に一層努めたい。郡内の指定医は長内科小児科医院で連携を密にしたい。また基礎疾

小川 本町の雇用状況は非正規職員（臨時職員）が多くなっている。勤務条件も低賃金等を始め、厳しい実態である。全国の最低賃金は時給703円、大分県が631円、九重町役場の場合1日5800円で遠距離からの通勤者は通勤手当も無い。

町長 日当5800円プラス6月と12月に一時金を支給。県内は一時金支給は九重町だけで県内では高レベルの支給をしている。通勤手当等がないなどのことにについては、近隣とのバランスも考えて、今後、トータル的に検討したい。

非正規職員、雇用条件の改善を  
県内では高レベル支給  
通勤手当は検討

小川 本町の雇用状況は非正規職員（臨時職員）が多くなっている。勤務条件も低賃金等を始め、厳しい実態である。全国の最低賃金は時給703円、大分県が631円、九重町役場の場合1日5800円で遠距離からの通勤者は通勤手当も無い。

町長 日当5800円プラス6月と12月に一時金を支給。県内は一時金支給は九重町だけで県内では高レベルの支給をしている。通勤手当等がないなどのことにについては、近隣とのバランスも考えて、今後、トータル的に検討したい。

## 江藤一幸



# 立て替え分どうなっている

## 4月分より徴収

ミネラルウォーター工場については、土地の借地料と水の使用料について町が立て替え払いとなっているが、今年1月分からの入金はどうなっているのか。

**町長** 工場の立地協定を締結しました。前提条件として、現地法人をつくってほしいと強く要望し、先月末現地法人をつくつていただいだ。

議会の最終日の全員協議会で、会社より計画を説明申し上げ、契約を結びたいと考えている。土地の所有者と水の権利者について1月分より支払いをしている。現地法人『どさん子』さんと9月18日に契約する。今年度4月分より1年間分をいただく契約内容についている。



ミネラルウォーター工場の現状（桐木）

**江藤** 生竜橋、言い出して8年になる。今議会に概略設計の委託費が計上されてる。ルート等地元と十分に協議し、耳を傾けていただきたい。

応分の負担をと聞いていいが、過去の経過等考えたるが、余り地元負担金を求めて、この建設を進めるべきと考えるが。

## 早く対策を！

検討して  
結論を出す

**町長** 今のところ議員が言われたような状況で、地元と協議を進めている。今の意見で今後検討して結論を出したいと思うが、町としては、政策路線以外になると。既定どおり負担金ということで話をしている。

江藤 九州商事跡地『ホッコク』に3つの工場を貸し付ける協定を知事の立合いで結んだが、貸し付けた建物の整備並びに環境整備が進まない、どうなっている。

ミネラルウォーター工場については、土地の借地料と水の使用料について町が立て替え払いとなっているが、今年1月分からの入金はどうなっているのか。

## 地場産業の再構築に力を

### 意識改革を進める

江藤

日本一の田舎づくりを目指すということだが。

近々の課題である、地場産業の振興、農業や観光や商業、この地場産業に活力

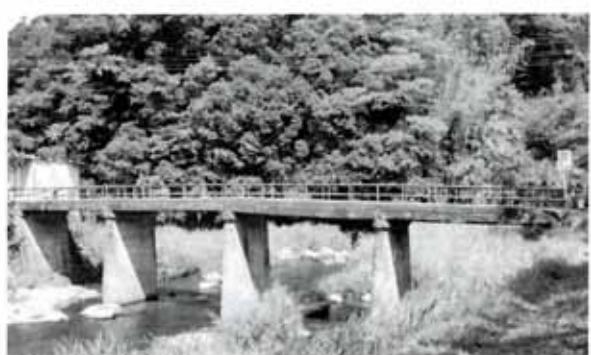
があり仕事があつて、そこから収入が上がる。各家庭

三世代が伸び伸びと暮らせる仕組みや仕掛けがあつてこそ、町長が思っている伝統芸能や伝統文化、助け合いの精神が残る町となる。

金だけが大事じゃないが、一定の収入は必要だ。地場産業を再構築して、若者が残れるような仕組み、仕掛けをつくつて行くことが今一番大事だ。

**町長** 農業振興・観光振興は、それとしてしっかりとやつていかねばと思っている。私が言う田舎づくりというのはすべてが田舎づくり、我々九重町でやることすべてが田舎づくりになる。今ある景色を守っていく。収入についてもしかり。

田舎づくり、今年は皆さん方に意識改革、一生懸命することが田舎だと、そういう意識づけを進めていきたい。



危険橋梁の生竜橋

佐藤博美



## 子ども園今後どうする 今少しの時間を…



老朽化が進む子ども園

**佐藤** 幼保一体化、子ども園ができてから5年目になって、制度自体は定着して来た様であるが、本来子ども園は保育園、そして幼稚園が一体となって、その中で相乗効果を上げていく事ができるものだと思う。しかし、未だに各地区とも別々で、子ども達や先生達が保育園に移動しなければならないという問題や、施設が老朽化しており、耐震問題も考えなければならない。又、4つの子ども園で28名の保育士の内、正規の職員は8名しかおらず、との20名は臨時で働いている保育士さんで成り立っている

というのも問題である。  
今後の子ども園の施設や運営をどう考えているのか、  
基本的な方針は…。

**教育長** 幼保をどうするか  
というのは喫緊の課題であるが、小中学校の耐震の問題や地区の公民館も飯田を除いては老朽化しており、すべての耐震診断が出た段階で総合的に、九重町の文教施設をどうするのかといふ計画を作る準備をしていく。その後で優先順位をつけて取り組まなければならぬ。今少し時間をいただきたい。

**佐藤** 町を活性化するには、九重町としての魅力をつくる事が必要である。

「自然との共生」を基本に、町長の言っている「日本一の田舎づくり」、又町づくり会議が提言した「自治率100%の町」、これが九重町の魅力である。

農業と観光が一体となって町の活性化はできると確信している。農業と観光をつなぐ商業が間に入り、地産地消で地域内循環ができる様になつて農業も観光も元気が出る。そこから町としての魅力はできると思っている。

行政としての仕掛けをもつと積極的にすべきではな

## 町の活性化は地産地消で 行政としての仕掛けを 宝泉寺活性化協議会を モデル地区として



地域の農家人達と話し合う宝泉寺活性化協議会

**町長** 今まで農業と観光、商業が連携していかなければという話はされて来たが進まなかつた。今回宝泉寺活性化協議会ができたので、そこがモデル地区として、農家や商業と連携して発展していく様に行政としても支援をしていきたいと思っています。

**宝泉寺活性化協議会を  
モデル地区として**

藤原三治



## 安心安全な観光と生活を !!

### 消防署と協議して考えていく

町長 広い町内で災害や事故から人命の安心安全を守るために、行政の課題として、悪い所から、安心安全な町づくりに取り組んで行きました。消防レスキューの訓練



多くの観光客でにぎあう龍門の滝



急病や救急時に活躍するドクターへリ

については、河川の水深は豪雨によって川底の土砂の量が変わりシーザンに入る前策としては訓練や調査が必要で、消防署と協議しながら考えていきたい。

安全対策については、看板設置やレスキューの強化に努め、地元消防団は装備も資格もない状況から、竹竿、ロープ、浮き輪等を準備して助けを求める人に差し伸べる程度で専門職の方に頼らざるを得ない状況を考える。緊急時のドクターへり使用は19年に1回、20年に2回、今年は2回の計5回の運行があつた。要請は救急隊員や医師の判断により必要と判断した時はすべて要請している。

藤原 我町へ訪れる観光客は年間500万人、山や川の事故防止対策は十分にできているのか。消防のレスキューの訓練を河川の調査を兼ねて、県内外から多くの観光客が訪れる龍門の滝等で行えないか。安全と救助対策を町は地元住民や消防団の声を聞き協力を仰ぎ前向きに取り組んではどうか。急病や交通事故等を含めて救急救命センターへ直送可能なドクターへりは有効に活用できているのか。

藤原 我町へ訪れる観光客は年間500万人、山や川の事故防止対策は十分にできているのか。消防のレスキューの訓練を河川の調査を兼ねて、県内外から多くの観光客が訪れる龍門の滝等で行えないか。安全と救助対策を町は地元住民や消防団の声を聞き協力を仰ぎ前向きに取り組んではどうか。急病や交通事故等を含めて救急救命センターへ直送可能なドクターへりは有効に活用できているのか。

教育長 プロポーザルに出せば優れた企画の提案が期待できる。建設予定地については十分議論してきたと

藤原 平成25年開校まであと3年半、建設予定地は役場周辺を考え設計「プロポーザル」にかけて検討する事になつていいが、その内容はどのようなものか。議会では7月に候補地の調査を行い、役場周辺が適当と判断したが町民への周知と

### 統合中学校の将来像は

#### 早急に議論を！準備を始めている

教育長 業務委託については、自ら理解が不十分ではないか。町は新たな学校のソフト面でどのような学校を作り、どんなビジョンを立て、町の将来を担う人材を育てるのかを考え、教師や保護者等の意見を聞き早急に方針を立てるべきではないか。

藤原 開局から3ヶ月、時期尚早かと思うが、町民の声として質問したい。

現在の文字放送主体から地域のイベントや九重の自然、行事等の様子をもつとスピード的に放送できなければ、喜ばれる自主放送を行つたらどうか。

業務委託については、自ら理解が不十分ではないか。職員の研修は十分にできているのか。町民が求め、喜ばれる自主放送を行つたいたい。

法律推進計画において「委託取扱と編集にかなりの時間が必要している。課題も見えてきたので、議論しながら今後の方向性を探つていきたい。

議論することで今後検討を行つたいたい。

### ケーブルテレビの自主放送の充実は委員会で議論し要望に応えたい

#### 委員会で議論し要望に応えたい

藤原 開局から3ヶ月、時期尚早かと思うが、町民の声として質問したい。

現在の文字放送主体から地域のイベントや九重の自然、行事等の様子をもつとスピード的に放送できなければ、喜ばれる自主放送を行つたいたい。

業務委託については、自ら理解が不十分ではないか。職員の研修は十分にできているのか。町民が求め、喜ばれる自主放送を行つたいたい。

法律推進計画において「委託取扱と編集にかなりの時間が必要している。課題も見えてきたので、議論しながら今後の方向性を探つていきたい。

議論することで今後検討を行つたいたい。

# わたしのひとこと

## 「野菜のタネ」

南山田 宝泉寺

中谷 康治さん



先日、秋蒔き用の種とし  
て宮重総太根、丸葉小松  
菜、日本ほうれん草などの  
「在来種」を取り寄せて畑  
に蒔いた。

野菜の種には固定種、在  
来種、地方種、F1品種、  
遺伝子組み替えなど色々な  
種類がある。固定種とは何  
世代もかけて選抜淘汰が行  
われ遺伝的に安定した種。  
在来種は長い年月を日本の  
風土の中で伝承されてきた  
こと。地方種はある決  
まった地域で代々守られて  
きたものを指します。現在、  
スーパーなどにある野菜の  
ほとんどはF1で、父親と  
母親の良い性質だけを持ち  
合わせた交配種。そして遺  
伝子組み替えは除草剤や殺

虫剤に強い、日持ちするな  
ど人間の都合に合わせて遺  
伝子操作されてできたもの。  
懸念ながら自然界の領域を  
越えてしまっています。

このように生産者、消費者  
の意識、ニーズに合わせ  
て色々な選択肢がある。

農業の勉強を始め、まだ

まだ分からぬ事ばかり。

種の種類を気にしだしたの

も最近。コストと生産利益

を追求するのは農業で食べ

ていくのに大事なことだと

は思いますが、それだけに

固執せず、守るべきものを

大切にし、消費者が知らな

い情報を伝えていく事も大

事だと感じています。

とりあえずは11月の収穫

が楽しみです。



めずらしい宮重総太根の原種苗

## 子どもと生活 体験学習を通して

東飯田 川上一

小幡 寛一さん



今年から始まつた東飯田  
地区の「放課後子ども教室」  
に運営委員として参画して  
います。この教室では学校  
や家庭で学びにくくなつた  
生活体験学習を中心計画  
し、体験、交流、遊びなど  
に取り組んで  
います。竹ト  
ンボや水鉄砲  
づくりなど昔  
は当たり前で  
あつた手作り  
の遊び道具を  
地域の大人の  
指導で作り、  
その道具で遊  
ぶ時間です。



放課後子ども教室で竹とんぼづくり

こわごわと小刀をにぎり懸  
命に挑む姿がありました。  
またチマキづくりをして、  
家庭で子どもの労働力  
が必要とされた時代は自然  
に体験していたのにと思  
います。

今は便利な世の中で子ど  
もの手伝いが必要でなくな  
ったためか、お手伝いより  
勉強をさせた方が本人の將  
來のためになると考える親  
が多いようです。身体を使  
つた生活体験は考える力、  
自立の力を育んでいくこと  
につながると信じ、この学  
びが、社会の中で生かされ  
る糸となれば大変うれしく  
思います。

# こんな町にしてほしい

自然を大切に

野上中学校三年

梅木花菜美さん



## 議員リレー

随想 56

民主党政治と  
地方



安部 武己

民主党が総選挙で圧勝し、半世紀以上続いた自民党政権から民主党政権へと政権交代し、鳩山内閣が誕生した。統々と出す政策に時代の交代を感じています。

まず地方にとつては、補助金制度から自由に使える交付金にすると言っています。だが、まずは無駄を省くことに集中しているよう見えます。その象徴的なのが、八ツ場ダムの中止です。70%も進んでいる事業

は、「自然破壊」という問題な問題となっています。だけど私たちの住む、この九重町には、飯田高原をはじめとするたくさんの「自然」があります。この「自然」を破壊するのは簡単なことかもしれません。しかし破壊された自然をもとのように戻すことはそう簡単にできません。しかしこの美しい自然を

守っていくことは、難しいことかもしれません。けれども、みんなが一丸となり守ろうとすれば、今のままの自然を維持できるはずです。それは九重町に住む大人の人たちにとつて重要な使命だと思います。

それに、私たち子どもにもなにができるはあるはずです。例えば、電気をつけてそのままにしない、水を出しつぱなしにしないなど、あげていけばたくさんあります。小さなことですが、み

の中止です。この一つを取つても止まぬ事業はない。今後、地方においても、道路、ハコ物等の事業は難しくなる。幸い九重町では、宝泉寺栗原線の道路、地方情報ネット整備が終わっています。

新政権がかかげる一つにも手当、高速道路の無料化、年金改革等々、地方にどのように影響するのか。私は九重町にとつては良い方ではないかと思われ、見守っていきたい。



コスモスが咲きほこる飯田高原

んなで取り組めば、大きな力となつて自然を守つていくことにつながると信じています。

「自然」というものは九重町にとつて大切なそして大きな財産だと思います。この財産をみんなで守つておけるようなそんな九重町であつてほしいです。

編集後記

今議会での一般質問は、4名だった。もっと多くの議員が質問すると活気が出るのだが?

「一般質問」は、議員が自らの意見・質問を町民の代弁者として、町長に一時間の持ち時間で、質疑出来る貴重な場です。

議員の責務・権利であり義務だと考えます。

「一般質問」は、議員活動の一つのパフォーマンスです。今回より、この「議会」たより」と合わせてCATVでも放映する事となりました。

お茶の間で、議会の「一般質問」を気楽に傍聴していただけたら幸いです。

ご感想・ご意見を聞かせて下さい。参考にします。

江藤 一幸

委員会 委員会 委員会 委員会 委員会 委員会 委員会

・委員会 委員会 委員会 委員会 委員会 委員会 委員会

・副委員長 藤原三治 小川克己 江藤一幸 佐藤博美 康志